

『ごあいさつ』

稚内市立稚内中学校長 森 河 真

日頃より本校の教育活動、そして教愛会活動に対しまして、深いご理解と多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また本日は授業参観、教愛会総会、学級懇談会に足を運んでくださりあわせてお礼申し上げます。

今年度もスタートして、はや三週間がたちました。3年生は最上級生としての自覚が芽生え、落ち着いて学校生活を過ごしています。2年生は、心も体も少し大人になりました。表情がとてもいいです。そして1年生。入学後は緊張気味でしたが、みんなやる気に満ちて頑張ろうとしている姿がステキです。

この一年間、保護者の皆様と力合わせを行い、協働して子どもたちの成長を育んでいきたいと思っております。

議案書の一番最後のページをご覧ください。学校教育目標である「未来を切り拓く心豊かな生徒の育成」を目指し、今年度取組を行っていくことをまとめた学校経営方針です。特に説明させてもらうことは3点です。

昨年度、保護者・地域の皆様からご心配や激励の声が数件ありました。そのひとつに本校では、学校に来られないでいる生徒が多いことです。対策として生徒指導主事の佐藤和弥先生を、その子たちへの支援コーディネーターに配置し、担任だけではなく、広く、生徒指導支援に関わるポストを設けました。今後も各関係機関と連携し様々な取組を行ってまいります。ぜひ皆様の応援・お力もお願いしたいと思っております。【重点2より】

また、力を付ける第一優先としての「学力保障」は継続します。対策のひとつとして「マス・スタディー・ルーム」(マスはマースマティックスの数学を意味します。)簡単に言うと「数学の学習教室」です。補充学習を行う教室を開設します。昼休み・放課後等、基礎基本の定着をはじめ、自主的な学習の支援を行います。工藤健司先生を室長として配置し、当面昼休みなどを利用して支援にあたります。詳細は後日生徒にも周知し保護者の皆様にもお知らせをいたします。ただし、「知識・技能」の定着においては、学校だけで身に付くものとは考えません。そこを補っていただくのはご家庭でしかありません。最低2時間は家庭で学習させてください。家庭での学習0時間は言語道断です。各ご家庭でも声かけの方よろしく願います。【重点1より】

最後になりますが、なぜ本校では「PTA」と言わず「教愛会」というかご存じでしょうか？昭和29年当時の「父母と先生の会会長の石山千代治氏が「教育を愛し、父母だけではなく地域の住民とともに教育を護り抜こうという気持ち」を強調する理由で「教愛会」という名称に変更したと聞いています。それを踏まえ、「地域とのつながり」という文言にしています。【重点3より】

今年度も本校の学校経営方針にご理解いただき、生徒そして教職員の応援をよろしく願います。